

紫峰の風

shihou no kaze



筑波大学
University of Tsukuba
第18号 2020年12月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められております。



かえで通り(令和2年10月28日撮影) 版画の授業風景(令和2年10月27日撮影) 第2エリア前の屋の光景(令和2年10月27日撮影)

筑波大学における「新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた活動形態」 《令和2年10月1日付、学生・教職員への通知(抜粋)》

【授業】

感染拡大防止に最大限配慮しつつ、対面での授業を実施できる。オンライン授業の活用も推奨する。

- ・対面授業は、座席間隔を十分に確保する等、感染防止策を講じた上で実施します。
- ・対面授業を実施する際、諸事情により出席が困難な履修者がいる場合は、不利益のないよう配慮します。
- ・オンラインにより実施することが望ましい授業については、引き続きオンラインで実施します。

【研究】

十分な感染防止策を講じた上で、研究活動を行う。セミナー・ゼミ等はオンラインの活用も推奨し、構内の滞在時間をできるだけ減らす。

- ・実験・実習を伴う研究指導及びゼミ活動については、少人数(20名未満を目安とする)にて指導教員が許可し実施できることとします。

【学生の入構】

感染拡大防止に留意して、通常通り入構できる。ただし、不必要な入構は控える。

- ・学生の皆さんは、各自がキャンパスに入構する日の直近14日間の健康観察記録を付け、その記録表は担当教員(授業担当教員、指導教員等)に提示できるよう携帯してください。
- ・図書館の利用など、各施設に関する情報については、ホームページ等に掲載される情報により確認してください。

【課外活動】

感染拡大防止に留意して、活動できる。

- ・「感染拡大防止」とは、検温の実施と記録・手指洗浄/消毒・マスク着用・3密回避等の感染防止対策とします。

・団体活動の開始を希望する学生団体は「団体活動開始届」を学生生活課に提出し許可を得てください。

・団体活動は基本的に学内での活動とします。ただし、当該団体のみで行う学外施設での定期的な活動及び主催・管理団体が適切な感染防止対策を施している宿泊を伴わない大会等の参加は可とします。

【参照:大学HP HOME>大学案内>新型コロナウイルス感染症への対応(まとめ)】

本学の活動形態の変更について(10月1日～)
(2020年10月1日掲載)

<http://www.tsukuba.ac.jp/about/antidisaster/covid-19-list.html>



今後の主な予定(変更になる場合があります)

秋ABモジュール期末試験	12月22～28日
冬季休業	12月29日～1月5日
同(東京キャンパス・夜間)	12月27日～1月4日
秋ABCモジュール期末試験	2月4、9、10、12、15日
同(東京キャンパス・夜間)	1月21、22、27、30日、2月2日
秋学期授業終了	2月15日
同(東京キャンパス・夜間)	1月26日
期末試験予備日	2月16日
同(東京キャンパス・夜間)	1月28、29日、2月3日
春季休業	2月17日～3月31日
同(東京キャンパス・夜間)	2月4日～3月31日
卒業式・大学院学位記授与式	3月25日
同(東京キャンパス・夜間)	3月27日

筑波大学紫峰会基金に寄附して下さった皆さまへ

皆さまからいただいたご寄附の全額を課外活動団体援助金等として、使用させていただいております。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をさらに充実することができました、大変感謝しております。

今後も我々の活動を見守ってください。

課外活動団体一同

学生緊急経済支援金の支給について

護者の収入減による仕送りの減少、アルバイト先の休業等による収入の減少、オンライン授業による環境整備の支出の増加等で困窮する学生のための緊急経済支援対策として、支援金を支給しました。

この支援金の財源のために、本学独自の資金の他に本学ホームページやクラウドファンディングを利用して寄附を募りました。教職員をはじめ卒業生や企業など、本学を応援して下さる多くの皆様からも温かいご支援を賜り、希望する約1万人の学生に総額約3億7千万円を支給することができました。心より厚く御礼申し上げます。

【学生緊急経済支援金の支給・貸付内訳】

令和2年10月9日現在

	支援内容	人数	金額(円)
1	全学群生(一律15,000円・自宅外生はプラス15,000円)	8,804	237,225,000
2	留学生(私費留学生・一律120,000円)	989	118,680,000
3	元留学生(帰国困難者・一律120,000円)	23	2,760,000
4	一時貸付金(全学生・上限100,000円・無利子)	206	17,651,000
	合計	10,022	376,316,000

注) 1、2、3 についての支援金の支給は終了していますが、4 については、継続中です。

大学院生への支援については、大学院生全員を対象としたリサーチ・アシスタント(RA)雇用経費として、1人あたり30,000円の予算を確保し、10月末までに4,442人の大学院生に総額約1億3千万円を支援しています。

就職特集 令和元年度卒業生・修了生進路状況及びキャリア形成支援について

学生部就職課

令和元年度の学群卒業生数は、2,253人でした。うち約955(42.4%)人が大学院へ進学、1,132人(50.2%)が就職(研修医含む)、166人(7.4%)がその他(資格・採用試験準備等、帰国)でした。詳細は、「卒業生・修了者の進路状況」をご参照ください。

筑波大学では、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(以下、DACセンター)と学生部就職課が連携し、キャリア形成支援活動を行っています。本学のキャリア支援体制を充実・発展させるため、各教育組織と有機的に連携し支援環境やネットワーク構築を行い、きめ細やかな学生支援を目指しています。学群1年生を対象としたフレッシュマン・セミナーや学士基盤科目「キャリアデザイン入門～世界に羽ばたく未来の自分～」を通じて、大学生活を積極的かつ有意義に過ごし、その後の人生設計(キャリア・デザイン)の基礎作りを寄与しています。また、大学院生に対しては大学院共通科目「博士のキャリアパス」を開設し、ロールモデルとなる方を講師に呼び、自分の未来を切り拓くヒントとなるような授業を行っています。

就職の動向について

例年3月に入り新卒採用の広報解禁で採用活動が本格化しますが、2020年は春先から新型コロナウイルス(以下「新型コロナ」という。)流行の影響により、合同説明会などの大型イベントは相次いで中止となり、代わりに企業側の個別対策として会社説明会や面接を、オンライン化する動きが広がりました。DACセンター及び就職課も、いち早く個別キャリア相談や各種就職ガイダンスをオンライン化し対策をすると共に、ポストコロナ就活検討のタスクフォースを結成し、「新型コロナ危機を乗り切る!キャリア応援セミナー」を複数回開催しています。学生部就職課ホームページ(<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>)において、コロナ禍での就職活動の最新状況やイベントの情報を伝えています。

新型コロナという誰も経験したことのない事態であり、企業も従来の採用スケジュールを変更する可能性もあるので、興味を持った企業の採用サイトや就職情報サイトの企業ページを確認するなど、自ら情報を取りに行くことが重要となります。教員・公務員の試験に関しても、試験日程や試験方法が今年は大きく変化しています。冷静に情報収集を行い、準備を進めることがコロナ禍での就職活動を乗り切る鍵になってきます。このように、就職を取り巻く環境の変化はありますが、学生の就職活動準備として、自身の強みや弱み等を把握する自己分析や業界・企業の動向など社会を知ることの重要性はこれまでと変わりません。DACセンター及び就職課は、安心して就職活動ができるよう、学生を支援していきます。

コロナ禍でのキャリア支援の取組

新型コロナウイルスの影響により、合同企業説明会や個別企業説明会の中止、採用活動のWEB化など、今年の学生は今までに経験したことのない就職活動を強いられることとなりました。緊急事態宣言時は、筑波大学も構内の立入りを制限したこともあり、就職課へ足を運んでいただくことができない状況となりました。DACセンター及び就職課では、いち早くオンライン化へ対応をし、自宅や宿舍からでもイベントや個別キャリア相談を受けられるようにしました。例年と変わらない支援を継続しています。

<キャリア形成支援>

就職課では低学年から参加可能なキャリアイベントや志望別別講座やガイダンス等を企画運営しています。現在、多くのイベントや講座をオンライン化しております。オンライン化したことで、学生からは「参加しやすい」「日程調節がしやすい」などのオンライン化への利点の声もあがり、例年より多くの学生が参加しております。

<個別キャリア相談>

学生の皆さんの就職活動や進路選択をサポートするために、経験豊富な相談員による個別相談も行っています。将来のことや進路選択(進学するか就職するか、留学するか、インターンシップに参加するか等)、キャリア・就職に関することなら、学年を問わずどんなことでも相談可能です。従来、対面で相談を行っておりましたが、現在オンラインと電話で相談を受けております。不安を少しでも解消できるようにサポートしています。



オンラインで行われる個別キャリア相談の様子

令和元年度卒業生・修了者の進路状況

学群・学類

学群・学類	卒業生	進学者	就職者	就職者の内訳					その他		
				企業	教員	公務員	独法等	研修医	研究生等・留学	資格・試験等準備 他	
人文社会学群	人文学類	107 (60) [2] (1)	17 (6) [1]	79 (48)	62 (38)	3	11 (8)	3 (2)		1	10 (6) [1] (1)
	比較文化学類	92 (61) [2] (2)	11 (6) [1] (1)	67 (50)	54 (39)	2 (2)	10 (8)	1 (1)			14 (5) [1] (1)
	日本語・日本文学学類	42 (33) [2] (1)	5 (5) [1] (1)	36 (28)	29 (23)	4 (3)	3 (2)				1 [1]
社会国際学群	社会学類	108 (38) [8] (6)	14 (4) [4] (3)	88 (31) [2] (1)	77 (26) [2] (1)		9 (3)	2 (2)			6 (3) [2] (2)
	国際総合学類	95 (48) [4] (3)	17 (8) [2] (2)	68 (37)	61 (32)		5 (3)	2 (2)			10 (3) [2] (1)
人間学群	教育学類	32 (16)	9 (3)	19 (12)	10 (7)	6 (4)	3 (1)				4 (1)
	心理学類	46 (27) [1]	14 (8)	28 (17)	20 (10)		6 (5)	2 (2)			4 (2) [1]
	障害科学類	36 (21)	16 (7)	18 (14)	10 (8)	4 (4)	4 (2)				2
生命環境学群	生物学類	96 (48) [16] (10)	71 (34) [9] (5)	18 (11) [2] (2)	15 (9) [2] (2)		3 (2)			1	6 (3) [5] (3)
	生物資源学類	155 (89) [22] (13)	101 (58) [9] (8)	40 (25) [3] (3)	31 (19) [2] (2)	1 (1)	7 (4)	1 (1) [1] (1)		1 [1]	13 (6) [9] (2)
	地球学類	55 (17) [4] (3)	33 (6) [1] (1)	17 (9)	11 (7)		6 (2)				5 (2) [3] (2)
理工学群	数学類	35 (6)	21 (1)	13 (4)	7 (2)	6 (2)					1 (1)
	物理学類	64 (6) [2]	40 (2) [2]	17 (2)	15 (1)	1	1 (1)				7 (2)
	化学類	46 (15) [1]	38 (9)	7 (6)	7 (6)						1 [1]
	応用理工学類	137 (20) [4] (1)	116 (17) [2] (1)	13 (2) [1]	12 (1) [1]		1 (1)				8 (1) [1]
	工学以て学類	130 (15) [3]	115 (13) [2]	13 (2)	12 (1)		1 (1)				2 [1]
情報学群	社会工学類	121 (33) [1]	70 (13)	43 (20)	39 (18)		4 (2)				8 [1]
	情報科学類	89 (7) [1]	66 (7) [1]	17	17						6
	情報メディア創成学類 知識情報・図書館学類	115 (73) [1] (1)	17 (6)	92 (64) [1] (1)	70 (46) [1] (1)	1 (1)	15 (12)	6 (5)			6 (3)
医学群	医学類	120 (35)	1 (1)	113 (33)					113 (33)		6 (1)
	看護学類	77 (77)	7 (7)	65 (65)	52 (52)	4 (4)	9 (9)			1 (1)	4 (4)
	医療科学類	41 (31) [2] (1)	21 (17) [1] (1)	18 (14)	17 (13)		1 (1)				2 [1]
体育専門学群	242 (73) [1]	56 (16)	167 (51) [1]	140 (36) [1]	17 (10)	9 (5)	1		1	18 (6)	
芸術専門学群	109 (86) [1] (1)	40 (33) [1] (1)	54 (41)	49 (36)	1 (1)	4 (4)				15 (12)	
学群合計	2,253 (953) [78] (43)	955 (294) [37] (24)	1,132 (597) [10] (7)	838 (441) [9] (6)	50 (32)	113 (76)	18 (15) [1] (1)	113 (33)	5 (1)	161 (61) [30] (12)	

修士課程・博士前期課程・博士後期課程

学群	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳					博士特別 研究員	博士特別 研究員	職務復帰	帰国	その他	
				企業	教員	公務員	独法等	研究員					研究生等・留学	資格・試験等準備 等
教 育	77 (26) [3] (2)	4 (2)	55 (18)	9 (5)	44 (11)	2 (2)				7 (2)	3 (2) [3] (2)	8 (2)		
人文社会科学 (修士課程)	37 (17) [31] (15)	5 (4) [5] (4)	11 (5) [5] (3)	10 (5) [5] (3)		1				16 (4) [16] (4)	5 (4) [5] (4)			
人文社会科学 (博士前期課程)	60 (38) [34] (24)	13 (9) [6] (4)	29 (17) [16] (12)	23 (16) [15] (11)	3	1	2 (1) [1] (1)			3 (2) [1] (1)	9 (7) [9] (7)	6 (3) [2]		
ビジネス科学 (博士前期課程)	54 (14)	4 (2)	1			1				48 (11)		1 (1)		
ビジネス科学 (専門職学位課程)	30 (12) [3] (3)									26 (8)	3 (3) [3] (3)	1 (1)		
数 理 物 質 科 学 (博士前期課程)	259 (42) [29] (13)	39 (6) [10] (3)	205 (31) [11] (5)	197 (30) [11] (5)	4	2 (1)	2				7 (5) [7] (5)	8 [1]		
システム情報工学 (博士前期課程)	505 (83) [119] (42)	43 (9) [29] (8)	422 (57) [64] (20)	412 (54) [62] (20)	2 [1]	5 (1) [1]	3 (2)			5 (1) [1]	25 (14) [25] (14)	10 (2) [1]		
生命環境科学 (博士前期課程)	302 (135) [107] (56)	44 (13) [24] (10)	190 (89) [26] (17)	164 (76) [24] (16)	5 (2)	9 (5) [2] (1)	12 (6)	3 (2) [1] (1)		21 (6) [20] (6)	33 (20) [33] (20)	2 (1) [3] (2)		
人間総合科学 (修士課程)	107 (64) [31] (24)	21 (12) [10] (8)	45 (29) [7] (7)	39 (24) [5] (5)	1 (1)	3 (2) [2] (2)	2 (2)	1 (1)		24 (12) [1] (1)	9 (6) [9] (6)	7 (4) [4] (3)		
人間総合科学 (博士前期課程)	333 (181) [49] (35)	52 (26) [12] (10)	169 (88) [17] (13)	111 (59) [14] (11)	40 (17) [1] (1)	13 (8) [2] (2)	5 (4) [3] (2)			53 (32) [18] (10)	18 (10) [18] (10)	3 (2) [2] (2)		
図書館情報学 (博士前期課程)	47 (16) [12] (6)	8 (4) [3] (2)	34 (10) [5] (2)	29 (7) [5] (2)	1 (1)		3 (2)				4 (2) [4] (2)	1		
グローバル教育院 (博士前期課程)	8 (5) [5] (4)	1 (1) [1] (1)	3 (1)	3 (1)						1 (1) [1] (1)	3 (2) [3] (2)			
博士前期 修 士 合 計	1,819 (633) [423] (224)	234 (88) [100] (50)	1,164 (345) [151] (79)	997 (277) [141] (73)	100 (32) [1] (1)	38 (19) [6] (3)	29 (17) [3] (3)	4 (3) [1] (1)		204 (79) [39] (12)	119 (75) [119] (75)	5 (3) [13] (7)		
博士後期合計	424 (154) [140] (64)	1 (1)	134 (46) [45] (18)	58 (18) [7] (3)	38 (13) [1] (3)	5 (2) [5] (2)	33 (13) [15] (7)	52 (13) [20] (5)	15 (7) [7] (4)	155 (50) [13] (6)	46 (27) [46] (27)	21 (10) [9] (4)		

(注) ()内は、女子を内数で示す []は、留学生を内数で示す ()は留学生のうち女子を内数で示す

医師国家試験

第114回(令和元年度実施)医師国家試験の状況

試験日	受験者(人)	合格者(人)	合格率	備考
令和2年2月8日(土)~ 令和2年2月9日(日)	120	114	95.0%	今年度卒業生
	4	3	75.0%	過年度卒業生
合 計	124	117	94.4%	

採用企業ランキング

順位	企業名	人数	順位	企業名	人数
1	株式会社日立製作所	15	9	日本アイ・ピー・エム株式会社	9
1	ソニー株式会社	15	9	東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)	9
3	日本電気株式会社	12	9	三菱電機株式会社	9
3	株式会社野村総合研究所	12	9	トヨタ自動車株式会社	9
5	ソフトバンク株式会社	11	14	富士ゼロックス株式会社	8
5	アクセンチュア株式会社	11	14	日産自動車株式会社	8
7	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ(NTTデータ)	10	14	楽天株式会社	8
7	LINE株式会社	10	14	ヤフー株式会社	8
9	本田技研工業株式会社	9			

就職活動を終えて

システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻 博士前期課程2年

狩野 貴彦



■所属サークル: バスケットボールサークル・筑波ジョギングクラブ

■職種: 完成車メーカー (電子制御・先進システム研究開発)

■就職活動期間: 2020年2月~6月

■就職先を決めた判断材料:

①職種別採用(初期配属先が内定時に決定) ②車のコンセプト決定に携われるから③事故回避の研究に重点を置き、普及可能な価格帯で実現を模索しているから(大衆車にも事故回避を付加することで、歩行者や対向車の安全を担保できると考えました。)

■就職活動中に心がけたこと:

研究内容・意義・経験を簡明に説明したことです。理系院生は、週一ゼミや学会があり、研究成果を説明する機会があります。その聴衆の多くは、専門の研究分野の知識があります。しかし、就活の面接では、専門の研究分野について詳しい人は、少数です。技術面接においても、事務系の人も居られます。私は、専門用語が少ない研究内容のスライドを作成し、研究内容を説明しました。最初に、伝えたい情報を決めて、それを伝えるための言葉を洗い出しました。

■大学生活で就職活動中役に立ったこと:

某自動車部品メーカーのベトナム法人でインターンを行ったことです。現地社員4人と日本人学生3人で、車載機器の自動検証ツール開発に取り組みました。ネットで得られる表層的な開発経験ではなく、文化が異なる人達と協調し、働くことを実感できました。

上記のことを守秘義務に抵触しない形でESに記載しました。面接官からは、「なぜ海外インターン?開発で難しかったことは?」などの開発成果そのものよりも、思考力について問われました。開発現

3 4

社会・国際学群 社会学類 4年

金井 珠羅



■所属サークル: なし

■職種: 地方公務員

■就職活動期間:

試験は6月下旬から9月にかけてありました。公務員試験の勉強を含めるとその1年前から。

■就職先を決めた判断材料:

業務内容、勤務地、社内の雰囲気、働き続けやすさ

■就職活動中に心がけたこと:

公務員試験の勉強は独学で進めたため、模試パックを購入し自分の実力や苦手な点を見つけ、フィードバックまで自分でできるようにしました。面接が決まってからは就職課の個別相談を活用し、話し方や考えておくべきことなどをアドバイスとして頂き、実践的な面接対策を進めました。実際に面接に行く際には、面接中は笑顔が大事と言われたため、面接官と談笑しに行く心づもりで、緊張しないようにしていました。

■大学生活で就職活動中役に立ったこと:

4年間勉強を怠らずに続けたことです。私は2年から3年にかけて行政書士の資格勉強を続けており、また毎回の期末試験でも高得点が取れるよう、勉強にはそれなりに励んできました。高校時代より集中力などは衰えたものの、公務員試験の勉強量は膨大だったため、それをこなす力は維持できていたと感じます。

■就職活動で学んだこと:

人と話すことの大切さです。面接を受けていく中で、面接官の方に好印象を与えたいという気持ちになりますが、いちばん大切なのは

場のインターンだったので、実務レベルまで落とし込んだ回答ができました。

■就職活動で学んだこと:

分からないことは素直に認め、自分の考えに自信を持つことです。面接官は、その業界のプロです。難しい質問が聞かれます。適当に誤魔化した回答は、バレます。誤魔化した回答ではなく、間違っても良いので自分の仮説を述べました。

■何社受けて何社受かったか:

計18社受験(内々定6社、最終辞退3社、二次落ち2社、一次落ち3社、ES落ち4社)。完成車、自動車部品、半導体、医療・空調機器など幅広く受験しました。私の研究分野が計算機工学系なので、様々な業界に活かせると考えたからです。

■新型コロナウィルス感染拡大に伴い、留意したこと:

ストレス解消に努めたことです。私の就活の佳境は、緊急事態宣言時でした。また、就活中も研究の進捗が求められたので忙しかったです。私の趣味は、バスケットや映画館、温泉に行くことですが、どこも自粛休業でした。家に引きこもる日々だったので、ジョギングをしていました。また、オンライン飲み会も行いました。

■後輩に一言:

ネットで就活情報を収集しましょう。Youtubeで「就活」と検索すると大量の動画があり、Openworkでは社員クチコミがあります。偽情報もありますが、正しく活用すれば、大きな武器です。ただし、別に巷の就活術に惑わされなくても良いと思います。理系院生は、口下手が多いですが、漏れなく全員、他に負けない研究を行っています。研究に打ち込んだ熱量を面接にぶつけましょう!その熱意は、面接官にも伝わるはずですよ。

■保護者に伝えたいこと:

「渡りに船」のスタンスが最も嬉しいです。就活は経費がかさみませう、お祈りメールを頂くと凹みます。面接官から厳しいお言葉も頂きます。子供の一番の味方であることを伝えて下さい。応援してくれる人がいると思うと、それだけで自信に繋がります。もちろん、実家から離れていても伝わります。

その面接官と短い時間の中で心を通わせ、本心を伝えることだということに気がきました。人と対話する機会を減らさないようにすること、また同年代だけでなく多様な年代の人と関わることができる機会を持つことで、面接での話し方やその後の将来にもつながると思います。

■何社受けて何社受かったか:

3団体受けて1団体合格、1団体二次試験辞退。

■新型コロナウィルス感染拡大に伴い、留意したこと:

場慣れや面接練習のためとして申し込んでいた他の公務員試験がコロナの影響で本命の試験より後に軒並み延期になってしまいました。練習ができないまま面接に臨むのを避けるため、就職課の個別相談を活用して課題点の洗い出しや面接練習に励みました。また、勉強のモチベーションを落とさないために、1日のノルマを設定し、必ずこなすようにしていました。

■後輩に一言:

面接練習や自己分析は本当に億劫ですが、早く始めるに越したことはありません。気が向いたときに就職課の個別相談や、就活団体の相談会に行くだけでも意識や意欲が変わるので、何から始めたらいかがかわからないままなら一度行ってみてください。就活団体のメンターを頼るのもいいと思います。

■保護者に伝えたいこと:

自分がどんな道に進もうと働く場があればどこでもいよいよ、プレッシャーをかけずに応援してくれていたことで、自分としても苦手な面接をあまり重圧に感じず、比較的楽観的な気持ちで取り組むことが出来ました。周りの友人が次々と内定の決まってくる中で、公務員志望の方は特に焦りを感じます。保護者の方々に、優しく見守りながら支えていただけると、お子さんの力になると思います。

課 外 活 動



展示風景 (昨年雙峰祭)

図画団

図画団は美術サークルです。現在は感染対策としてすべての活動をオンライン化しています。例年は学内にスペースを借りて展示会を開催していたのですが、今年はこれも例にもれずオンライン化し、Web展示会を開催いたします。美術展の醍醐味である実物展示を削ってなお魅力的だと思っていたら展示を目指し挑戦中です。展示は11月初旬から開始し、本誌が皆様のお手もとに届く頃にも続いている予定ですので、機会がございましたらぜひご覧ください。

(寄稿/図画団団長 鈴村有人・比文3年)



自粛期間開けの練習の様子 (令和2年10月9日撮影)

女子ラクロス部

コロナウイルスの感染拡大を受け、弊部では4月からの約5ヶ月間、個人やオンラインでのトレーニングを続けてきました。例年では8月に開幕する関東学生ラクロスリーグ戦も中止となり、現在は11月に初戦を迎える特別大会2020に向け練習を再開しています。練習や大会には感染症対策を徹底するための様々な制限がありますが、多くの方々のおかげでラクロスができることに感謝をしながら、日々練習に取り組んでいます。今回の大会は無観客での開催となるため、オンラインでの配信も行う予定です。この機会にぜひ観戦して頂ければ幸いです。

(寄稿/女子ラクロス部主務 山口咲・資源3年)

特別援助金報告

スキーオリエンテーリングワールドカップラウンド1海外遠征 (令和2年2月19日~2月28日実施)
スキーオリエンテーリングワールドカップファイナル遠征 (令和2年3月8日~3月19日実施)

スキーオリエンテーリング(以下「スキーO」という。)競技を皆さんご存じでしょうか。クロスカントリースキーを履き、地図とコンパスを使用して、地図上に書かれたチェックポイントを順番通りに1番早く走破したものが勝利するというスポーツです。林やゴルフ場など競技エリアは多岐にわたり、圧雪車やスノーモービルで雪上につけられた跡を地図から読み取り、ルートを自身で決定して、現在地を把握しながら滑ります。スキーを滑るための体力と、ナビゲーションするための知力の両者を、同時に極限まで使うのがスキーOの魅力だと感じています。スキーOはヨーロッパを中心に盛んであり、今回私はスウェーデン・ロシアで開催されたワールドカップに参加して参りました。18か国から100人強の選手が集まり、今シーズンのワールドカップチャンピオンを決めるべく戦いました。私は、2大会を通して15ポイント獲得し、38位という結果になりました。

スキーOには大学1年の冬に出会い、海外遠征は今年で5度目となります。今回だけでなく、筑波大学紫峰会基金の特別援助金より過去に4度ご支援いただき、本場でレースに参加しました。夏はフィジカルトレーニングや地図読みを行い、冬になるとクロスカントリースキーの練習とスキーOの大会に参加しています。実際のレースに参加することでしか学べないことも多く、大会参加の機会を与えていただいたお陰で、自身の競技レベルが上がり、世界の選手と戦えるようにな



昨年9月に行った夏合宿における練習の様子

混声合唱団

こんにちは! 筑波大学混声合唱団団長の関口夏槻です。例年筑波大学混声合唱団では、12月に開く定期演奏会に向けて、画像のように皆が集まって活動をしていましたが、今年はこのコロナ禍の影響により、対面活動の休止を余儀なくされました。5月から9月にかけては、定期演奏会で演奏する予定だった曲をオンライン練習という形で練習していました。

やはり合唱はみんなで合わせてなんぼ!だと私は思います。また皆様に我々の歌声を届けられるよう精進して参りますので、応援の程よろしくお願ひいたします。

(寄稿/混声合唱団団長 関口夏槻・比文3年)



自主練での投球練習の様子 (令和2年8月15日撮影)

医学準硬式野球部

医学準硬式野球部では、部活動としての活動は全くできていない状況です。しかし、来たる活動再開の日のために週3回、自主練で行った内容をLINEのノート機能に投稿し少しでもモチベーションを保てるようにしてきました。活動再開が見込めない状況でモチベーションが完全に無くなってしまふ部員もいる中で、全員がこの活動に参加できたわけではありませんが、少しでも良い影響はあったのではないかと思います。早くコロナが収束し、全員で元気に野球が出来るように祈っています。

(寄稿/医学準硬式野球部主将 高橋陽・医学3年)

ってきていると感じております。

今後は、大会参加を通してスキーOの経験を積み、現在132位であるワールドランキングを上げることに、そしてスキーOの魅力と学内のみならず国内に広め、普及に貢献したいと考えております。

(寄稿/オリエンテーリング部 佐野 響・理工情報生命学術院システム情報工学研究群 知能機能システム学位プログラム1年)

援助対象	オリエンテーリング部
特別援助金区分	海外遠征S
援助金額	164,500円



マスタートミドル競技 スタート前の様子 実際の競技で使用される地図 マスタートミドル競技 競技中の様子

Editors'2020

▶広報会議メンバーとなり特に印象に残っていることは、多くの方と関わることができたということです。広報の仕事に携わったのは初めてで慣れないことも多く、私自身がメンバーとして貢献できた事は少なかったですが、広報会議メンバーの方々や寄稿依頼をしたサークルの代表の方々や取り取りを通して、とても貴重な経験をする事ができたと感じています。

(文サ連広報局長 飯村玲菜・教育2年)

▶「紫峰の風」を制作する側として1年間仕事をさせていただいた中で、得るものが多くありました。この活動を通して自分が普段関わることのない方々の活動や思いに触れる機会に恵まれ、新たな発見の連続だったように思います。一方で今年は新型コロナウイルスの影響で例年通りの活動が制限され、はがゆい思いもしました。色々ありましたが、私にとって全てが貴重な経験でした。1年間ありがとうございました。

(文サ連広報局長 竹森大貴・人文2年)

▶感染症の影響で従来の活動は十分に行えませんでした。第16号の特集記事の企画・編集を担当した際には、大学周辺の地域の特色とアパート生活の様子をテーマとして、アンケート依頼、紹介文・レイアウト案の作成などに携わることができました。広報会議メンバーや紫峰会業務推進室の方からのアドバイスを参考に、保護者や学生に分かりやすく伝えるよう修正を重ねました。大学の広報誌の編集という貴重な経験ができたことに感謝致します。

(芸サ連広報局長 高見沢仙美・応理3年)

▶広報というお仕事は初めてだったので紫峰の風の編集作業に就くと決まった時は緊張していましたが、いざ記事を組み立ててみると、頭を悩ませながらも仲間と共に楽しく製作出来ました。今年の春頃からは感染症の影響で例年と異なっていたため取材や撮影など十分にお仕事が出来なかったことが悔やまれますが、その中でもオンラインでのインタビュー等貴重な経験をさせて頂き光栄でした。

(芸サ連広報局長 沓澤紗奈・生物3年)

▶今年は新型コロナウイルスの影響により、課外活動の自粛やオンライン授業の実施など、様々な活動が例年とは大きく異なりました。その影響を受けたのは「紫峰の風」もまた然りて、対面での作業は行

学生相談室から

総合相談窓口 029-853-8430
学生相談受付 029-853-2415

新入生が「大学生」になっていくとき

人間系 杉江 征

大学は秋学期が始まり、徐々に対面での授業も増えて来ました。ただ、感染症対策のため、教室定員の関係上、1、2年生は、まだオンデマンド配信の授業の割合が多いようです。春学期に学生の皆さんのお話をお伺いして気づいた点がありました。それは、オンデマンド授業では、これまでの対面での授業と異なって、授業中の教室の風景、つまり授業中の他の学生の様子が見えなく、休み時間での友達とのちょっとした会話(雑談)ができないという点でした。教室で実際に授業を受けていると、何人かの学生は途中で居眠りをしていたり、友達とおしゃべりをしていたり、中には遅刻してくる学生や授業中でも途中でこっそりと教室から出ていく学生なども見ることができました。また、休み時間などでは、「さっきの授業はぜんぜんわからなかった」というような会話が友達とできて、よくわからないのは自分だけではなく、友達も同じで、さらには、上手な課題の対応の仕方やテスト対策などの情報交換も何気なく出来ていました。つまり、みんなそんなに真面目に授業を受けているわけでもなく、授業がよくわからなかったのは自分だけではなく理解することができていました。

新入生は、入学して、実際に大学に来て、学生生活を始めます。そして、キャンパス内で繰り広げられている様々な光景を見ながら、徐々に大学生になっていくように思えます。入学式やオリエンテーション、新歓などの行事も大学生になるための儀式として大切であったように思います。

そうすると、新入生のこれからの課題は、大学生になる過程を、ちゃんと踏んでいってもらいたいことなのではないかと思っております。友達との雑談を楽しみ、学内のあちこちで見られる、高校時代とは異なる様々な光景を見て、体験して、授業の内容以外のことも学んでいただければと思います。保護者の方々にも、お子様が「大学生になっていく姿」を見守っていただければと思います。そして、何か気がかりな様子が見られましたらぜひご相談いただければと存じます。

えず、オンラインでの作業となりました。しかし、たくさんの方々の支えにより無事に発行することができました。私もその発行に携われたことを嬉しく思います。1年間ありがとうございました。

(体育会広報局長 伊藤香菜子・生物2年)

▶約1年間医学広報委員として活動して、医学の部活動を多くの人に知ってもらえる機会に携われてよかったです。医学の部活動は他学の部活動に比べて、人数も少なく、知名度もさほどない中でこの広報の仕事ができ、紫峰の風を通して学生のみならず、保護者の方や関係者に広く知ってもらえたことはとても嬉しく思います。これからも多くの人に知っていただけるよう精進したいと思います。

(体育会医学広報局長 石倉鈴太郎・医療2年)

▶今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、学生広報会議も例年とは違った活動形態になりました。8月初旬に発行した17号はオンラインでのやり取りを中心に制作され、私も実家にいながら全代会の方に寄稿を依頼し、提出しました。慣れない中での作業でしたが、紫峰会業務推進室や広報部会の方々のおかげで無事記事を掲載することができ、感謝しています。これからも少しずつ仕事を覚えながら活動していきたいと思ひます。

(全代会広報委員 村松真緒・社会2年)

▶全代会広報委員として「紫峰の風」の編集に1年間参加させていただきました。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で例年とは違う活動形態になったと感じました。様々なことが対面からオンラインになっていく中で「紫峰の風」も活動の場をオンラインですることになりましたが、無事に発行することができ良かったと思ひます。作業として私自身のこの「紫峰の風」での貢献は少ないものですが、貴重な体験をさせていただけたと思ひます。1年間ありがとうございました。

(全代会広報委員 中山皓太・創成2年)

筑波大学紫峰会基金より

令和元年度 筑波大学紫峰会基金援助金支給報告

令和2年7月29日に開催された筑波大学紫峰会基金運営委員会にて、令和元年度の紫峰会基金援助金の支給について報告されました。概要は次のとおりです。

援助金項目	金額(円)
課外教育行事援助金	2,888,000
課外活動団体援助金	20,500,000
特別援助金	1,430,600
組織助成金	0
育成指導補助給付	21,205
記念品特別支給	0
合計	24,841,249

紫峰の風 第18号 2020年12月発行

発行 事業開発推進室

編集 学生部学生生活課

学生広報会議(飯村玲菜・教育2年、石倉鈴太郎・医療2年、伊藤香菜子・生物2年、沓澤紗奈・生物3年、高見沢仙美・応理3年、竹森大貴・人文2年、村松真緒・社会2年、中山皓太・創成2年)

広報部会(稲葉彩月・教育4年、河原井かれん・芸専3年、黒川真臣・生命環境5年、山岸素子・知識4年)

タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸術2016年度卒)

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

電話: 029-853-5886

E-mail: gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学紫峰会基金WEBサイト

https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/



紫峰の風送付先変更の連絡はこちら

E-mail: renkei@un.tsukuba.ac.jp

電話: 029-853-2030